

## デジタル田園都市国家構想総合戦略骨子（案）に対する意見

令和４年１１月３０日  
広島県知事 湯崎 英彦

### 《総合戦略の基本的考え方について》

- デジタル田園都市国家構想の本旨は、地方創生の取組をデジタルの力を活用してより加速化・深化していくことにあり、ボトムアップの成長、とあるように、デジタル実装に向けた地方の挑戦を、各府省庁の施策等により強力にバックアップしていただける内容であると感じている。
- 高いＱＯＬを含め地域が持つ様々な資源を生かしたＬＸ（ローカル・トランスフォーメーション）の実践と、このデジタル田園都市国家構想を始めとする全国的な政策等がうまく組み合わさることが次代の日本を創生する力強い成長につながると考える。

### 《地方のデジタル実装への支援について》

- そのため、デジタル田園都市国家構想交付金は、デジタル田園都市国家構想を具体的に推進するための燃料として、総合戦略骨子案でも目標としている「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現につなげていくよう、幅広い支援が可能な財政支援策へと拡充していくことが必要である。
- 一方で、支援内容はデータ連携基盤やマイナンバーカードの普及を進めるものなど、極めて限定的になっており、骨子で目指しているデジタル田園都市国家構想が実現される姿はなかなか想像しにくいのではないかと。
- 例えばデジタル実装を進めるためには、課題を自分ごととしてとらえて、トライ＆エラーを繰り返しながら取り組んでいくということが必要であることは、これまでの会議でも述べさせていただいたところ。
- 本県でいうと、「ひろしまサンドボックス」など、デジタル技術を活用し、様々な産業・地域課題の解決をテーマとして共創で試行錯誤できるオープンな実証実験の場を構築する取組があり、これらの事業も確実に社会のデジタル化に資することから、本交付金による財政支援の対象となるよう、制度の拡充を図っていただきたい。

### 《マイナンバーカードの普及状況を交付金に反映することについて》

- また、マイナンバーカードの推進が非常に重要な政策課題であることは間違いないが、マイナンバーカードの普及は、デジタル田園都市国家構想を構築するために必要なものの一部でしかない。デジタルを活用した社会課題の解決策を策定するにあたり、効果的な手段の１つであることは承知するが、個人認証を必要とせず、マイナンバーカードを活用する必要のないデジタル実装の取組も行われている。
- デジタル田園都市国家構想実現の手段の１つであるはずのマイナンバーカードの普及状況により、本来の目的であるデジタル活用による社会課題の解決に自治体が着手できないのはデジタル田園都市国家構想を推進するうえでむしろ問題ではないかと。
- 全ての自治体が、デジタル技術を活用した地方創生の加速化・深化の取組にチャレンジできる制度設計を、改めてお願いしたい。

デジタル田園都市国家構想交付金の対象外となる本県の主な取組(※)

| ① 先進的な取組(様々なソリューションを公募し、実験的に進めるための取組)              |                                                                                                                                                               |                                                                                                      |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取組名                                                | 取組内容                                                                                                                                                          | デジタル田園都市国家構想への貢献                                                                                     |
| AI/IoT, ビッグデータ等の最新のテクノロジーを活用した実証実験の取組(ひろしまサンドボックス) | AI/IoT, ビッグデータ等の最新のテクノロジーを活用することにより、県内の企業が新たな付加価値の創出や生産効率化に取り組めるよう、技術やノウハウを保有する県内外の企業や人材を呼び込み、様々な産業・地域課題の解決をテーマとして共創で試行錯誤できるオープンな実証実験の場を構築する取組                | スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX, スマート農林水産業・食品産業, 観光DXなど幅広い社会課題の解決に貢献するとともに、試行錯誤を経て、デジタル実装の力を持った人材育成につながる |
| 県内スタートアップのサービス実装を加速させる取組                           | デジタル技術の活用により地域課題解決を図る、スタートアップが開発したソリューションについて、公共による共同調達・一括調達を通じ、県内への横展開を促進することで、産業DX・イノベーション人材の育成・集積を図る取組                                                     | スタートアップ・エコシステムの確立に貢献するとともに、優良事例の横展開を通じたデジタル実装を促進する                                                   |
| スマート農業分野における実証実験の取組(ひろしまseedbox)                   | デジタル技術を農業に取り込んだ「スマート農業」を推進していくため、広島県内で広く導入が見込める、課題解決を図るための提案を県内外から広く募集し、実証する取組                                                                                | スマート農林水産業の実現に貢献するとともに、試行錯誤を経て、デジタル実装の力を持った人材育成につながる                                                  |
| 環境分野における実証実験の取組                                    | カーボンニュートラルに向けて、県内をフィールドとした実証を促すため、マッチング、補助金や伴走支援等の実証支援を実施するとともに、実証後も県内でのスタートアップ等の新規案件創出や県内企業との共創が継続するよう、県内事業者・自治体、VC等をコアメンバーに、国内外のスタートアップの受け皿となるコミュニティを構築する取組 | スタートアップ・エコシステムの確立に貢献するとともに、試行錯誤を経て、デジタル実装の力を持った人材育成につながる                                             |
| ② 横展開の取組(データ連携基盤を活用するものを除く)                        |                                                                                                                                                               |                                                                                                      |
| 取組名                                                | 取組内容                                                                                                                                                          | デジタル田園都市国家構想への貢献                                                                                     |
| 実証実験を経たデジタル活用のソリューションを実装支援する取組(サキガケプロジェクト)         | 地域における AI/IoT 等のデジタル技術の導入及びデータ活用・連携の推進を目指し、これまで「ひろしまサンドボックス」で実証を行い、地域への波及効果や事業性が検証されたソリューション(20 件)の実装を支援する取組                                                  | スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX, スマート農林水産業・食品産業, 観光DXなど幅広い社会課題の解決に貢献するとともに、試行錯誤を経て、デジタル実装の力を持った人材育成につながる |
| デジタル技術を活用し除雪作業の支援する取組                              | 熟練した運転技術が必要となる除雪車による除雪作業について、経験の浅いオペレーターが可能となるようデジタルによる運転支援技術を実装する取組                                                                                          | 地域インフラの DX を進めることで魅力的な地域の形成の取組として、若手の担い手不足に悩む地域の課題解決につながる。                                           |

(※)実施済み(従来の地方創生交付金等の活用を希望したが、要件を満たさないとされたもの)の取組を含む